

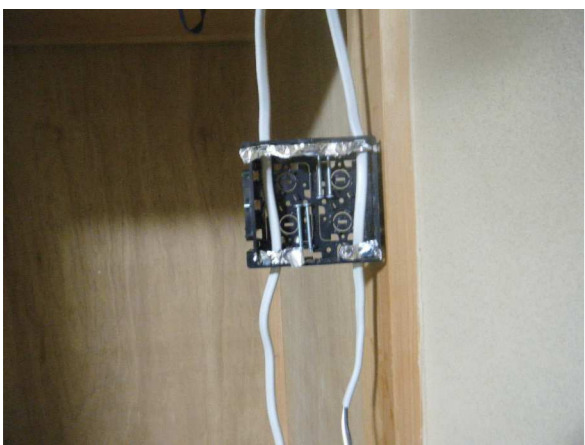
**手順①**  
敷設面ごとのリード線（白・黒それぞれ）をまとめます。



**手順②**  
VVF 1.6mm と、①でまとめたリード線（白・黒それぞれ）をリングスリーブを用いて圧着結線します。



**手順③**  
圧着結線した部分を絶縁テープで絶縁防湿処理します。



**手順④**  
コントローラ取付け予定位置で仮止めします。電源側（一次側）も同様です。コントローラへの接続は右上図を参考にしてください。

◆HK1 (1回路コントローラ)

◆HK2 (2回路コントローラ)

プレハカ

HK1フタ閉

HK2フタ閉

コントロールは200V/100V兼用です。(床暖房の電圧に関わらず、コントローラは動作します。)  
コントロールの端子台はスクリューレス端子台です。VVFと接続してください。  
※アース線、温度センサは必要ありません。  
※必要に応じて、ホームオートメーション用端子台をご使用ください。

**プリマヴェーラ・ネオに合った電圧をください**

100V用プリマヴェーラ・ネオに200Vの電圧をかけると、プリマヴェーラ・ネオは使用不可となります。  
200V用プリマヴェーラ・ネオに100Vの電圧をかけると、温まりが極端に弱くなります。

HK1/HK2フタ開

◆床暖房検査表の記入方法

仕上げ材の施工と電気配線の完了後、検査を行い、数値を床暖房検査表に記入し、当社まで FAX 送信してください。

①現場合成抵抗値(Ω)の測定  
…2次側配線の線間で測定

プリマヴェーラ・ネオの敷設面ごとの抵抗値を測定してください。リード線の繋ぎ忘れがないか確認するための検査です。

正常値  
(工場合成抵抗値の) ±10%以内

②絶縁抵抗値(MΩ)の測定  
…2次側配線の片側と対地(アース)間で測定

プリマヴェーラ・ネオ及び配線からの漏れ電流がないか確認するための検査です。正常値範囲から逸脱している場合は、速やかに当社営業担当者にご連絡ください。

正常値  
500V/100Ω → 250V/50Ω →

**重要 床暖房検査表 FAX:06-6310-6827**

③昇温検査

左の写真は、赤外線温度計で温度上昇を確認している様子ですが、体感で昇温が確認できれば問題ありません。

正常値  
500V 計測 100MΩ ~ ∞ 250V 計測 50MΩ ~ ∞

設置場所	電圧	工事枚数	現場合成抵抗値(Ω)	絶縁抵抗値(MΩ)	昇温検査
1	200	3	99.23	0.1	NG
2	200	3	99.23	0.1	NG
3	200	3	99.23	0.1	NG
4	200	3	99.23	0.1	NG
5	200	3	99.23	0.1	NG
6	200	3	99.23	0.1	NG
7	200	3	99.23	0.1	NG
8	200	3	99.23	0.1	NG
9	200	3	99.23	0.1	NG
10	200	3	99.23	0.1	NG
11	200	3	99.23	0.1	NG
12	200	3	99.23	0.1	NG
13	200	3	99.23	0.1	NG
14	200	3	99.23	0.1	NG
15	200	3	99.23	0.1	NG
16	200	3	99.23	0.1	NG
17	200	3	99.23	0.1	NG
18	200	3	99.23	0.1	NG
19	200	3	99.23	0.1	NG
20	200	3	99.23	0.1	NG

製造・販売元

**株式会社 アルシステム**

http://www.irsystem.jp

本社: 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-14-33 TCSビル6F  
TEL:06-6310-6826 FAX:06-6310-6827  
E-mail: osaka@irsystem.jp

東京支店: 〒110-0013 東京都台東区入谷1-2-3 K・Kビル3F  
TEL:03-6802-4846 FAX:03-6802-4847

# 電気式エコ床暖房 プリマヴェーラ・ネオ

# PRIMAVERA NEO 施工要領

本製品を正しく安全に施工していただくために、本書の注意事項・施工方法をよくご理解いただいたから施工してください。万が一、本書と異なる施工を行い事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

基本情報と注意点

◆釘打ち可能な場所について **プリマヴェーラ・ネオの透明部分以外は釘打ちできません。** ◆その他注意点等

傷のついたプリマヴェーラ・ネオは“使用不可”となります

新しいプリマヴェーラ・ネオが必要ですので、速やかに当社営業担当者にご連絡ください。  
傷のついたプリマヴェーラ・ネオを施工し事故が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

上のマークの所は手打ちする場合のみ、釘打ちが可能です。

黒・銅箔部分は釘打ち禁止部分です。

銅箔部分を必ずまたぐように

釘打ち箇所

根太位置

①303mmピッチにある釘打ちラインに釘打ちしてください。  
②フロアネイルを使用し、手打ちされることをおすすめします。  
③フィニッシュネイルでの施工は、床鳴りが発生する可能性があるため、おやめください。  
④ステーパー等の施工もできますが、釘が跳ね返る恐れがありますので、手打ちをおすすめします。

◆フローリング (幅1尺×長さ6尺) の施工について

《フローリングの長手方向》→銅箔部分を必ずまたいでください。  
銅箔部分はプリマヴェーラ・ネオの両端にあり、どちらも必ずまたぐように施工してください。

《フローリングの短手方向》→短辺部のジョイントを釘打ちラインに合わせてください。  
プリマヴェーラ・ネオには303mmピッチで釘打ちラインがあります。

床暖房システムの概要図・床構造別断面図

(1) 根太工法 (仕上げ材がフローリングの場合)

床暖房対応フローリング  
プリマヴェーラ・ネオ  
下地合板  
断熱材  
大引  
根太  
床暖房対応フローリング (12mm~15mm)  
プリマヴェーラ・ネオ (0.5mm)  
下地合板  
断熱材

床暖房システムの概要図

電気工事は、電気工事法、電気設備に関する技術基準および、内線規定に基づき、電気工事の方が行ってください。  
一次電源は床暖房専用回路として、定格漏れ電流が30mAを超えない漏れ電流遮断機および、過電流遮断機を設置してください。  
コントローラは小さな動作音しますので、音の気にならない箇所に取付けてください。  
床下には必ず断熱材(断熱等性能等級4以上を推奨)を施工してください。2階以上のお部屋についても断熱材を施工してください。

分電盤  
コントローラ  
床暖房対応フローリング  
プリマヴェーラ・ネオ  
大引  
ジョイントボックス  
根太  
下地合板  
断熱材

(2) 根太工法 (仕上げ材がCFシート・カーペット・タイル等の場合) ※床暖房対応品

合板捨貼り 推奨9mm厚  
※仕上げ材が薄量の場合、5.5mm

CFシート等  
プリマヴェーラ・ネオ  
下地合板  
大引  
根太  
断熱材

◆施工時の注意点

■合板捨貼りについて

1. プリマヴェーラ・ネオの上に合板を仮置きし、位置を調整します。
2. 合板の上に釘またはビスを打つ位置の墨を出してください。その際、銅箔部分及び発熱部(黒い部分)に釘またはビスが当たらないように墨を出します。

(3) 乾式二重床工法の場合

床暖房対応フローリング  
プリマヴェーラ・ネオ  
断熱材  
合板 (12mm)  
パーティクルボード  
コンクリートスラブ  
床暖房対応フローリング (12mm~15mm)  
プリマヴェーラ・ネオ (0.5mm)  
合板 (12mm)  
パーティクルボード (20mm)  
断熱材

※床剛性を上げるため、合板(12mm)をパーティクルボード上に施工することをおすすめします。

※各乾式二重床メーカー様の指示にしたがって、施工してください。

# ① 施工の前に

## ◆ 施工に関する注意事項

施工前にフローリング方向、貼り始めの位置、配線方法、コントローラ位置等を必ず確認してください。



出荷明細書と商品の確認を  
してください

商品到着後（納品日）、1週間以内に出荷明細書と商品をご確認ください。  
※期限が過ぎている場合、対応をしかねることがあります。



通電は接着剤乾燥後に行ってください

通電は接着剤が完全に乾いてから行ってください。  
（目安：夏期は2~3日、冬期は5日以上）

接着剤が固まる前に電気を通して熱を加えたり、接着剤を塗りすぎたりすると、  
しっかり接着せず、床鳴り他問題が発生する可能性があります。



当社営業担当者が施工説明に伺います

初めて当社製品を施工される施工店様・電気工事店様に向けて  
施工方法を説明いたします。  
なお、日程調整についてはお早目にご連絡ください。

## 手順①

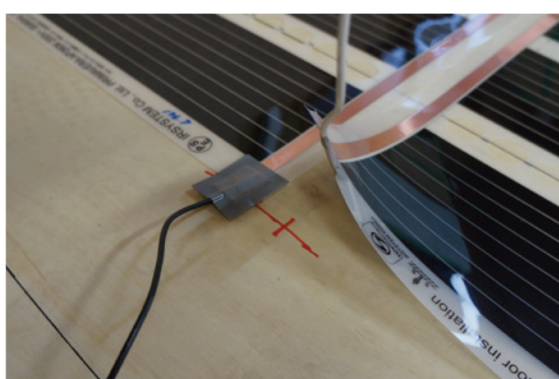
### プリマヴェーラ・ネオ 敷設位置の確認



プリマヴェーラ・ネオを仮置きし、敷設部分の墨を出します。

## 手順②

### ターミナル位置の確認



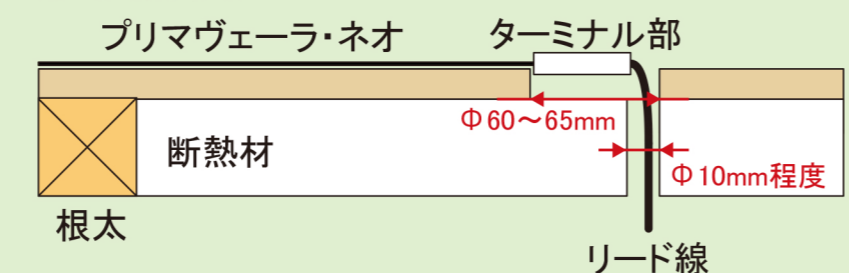
プリマヴェーラ・ネオのターミナル位置の地下合板に、印をつけます。  
配線方法は3通りありますので、現場の環境に合わせて  
選択してください。

# ② 配線のための下地加工（3通りの方法があります）

## ◆ 方法① <キリを使った床下配線>



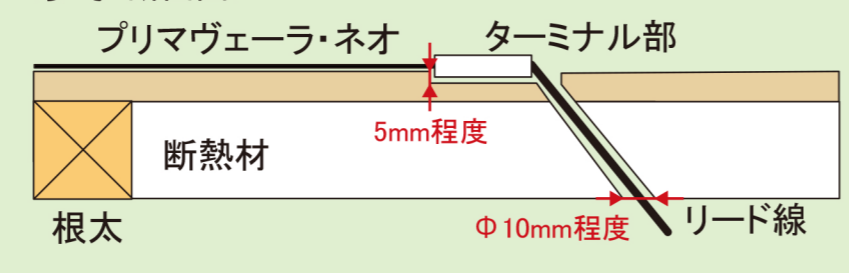
<参考：断面図>



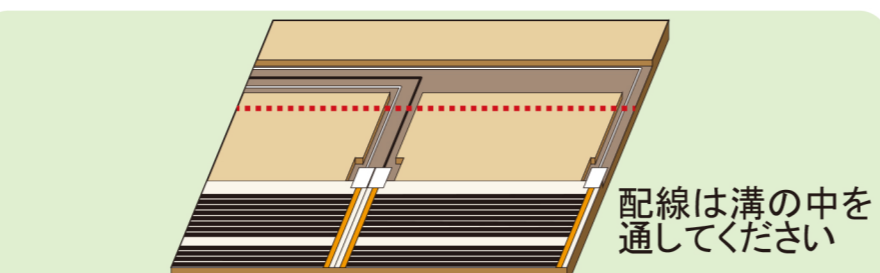
## ◆ 方法② <座彫りし床下配線>



<参考：断面図>



## ◆ 方法③ <溝掘配線>

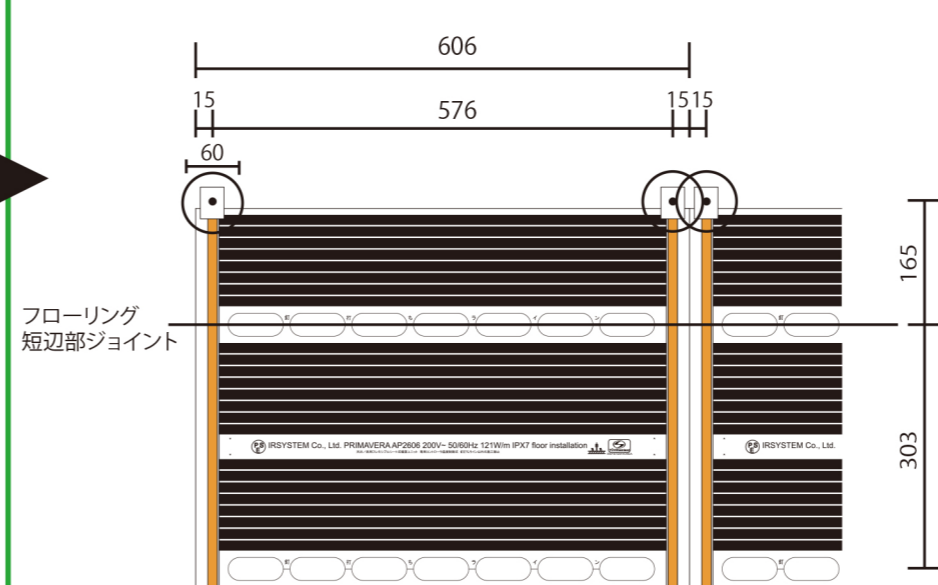


※配線の本数により、溝の幅は異なります（15mm~50mm程度）

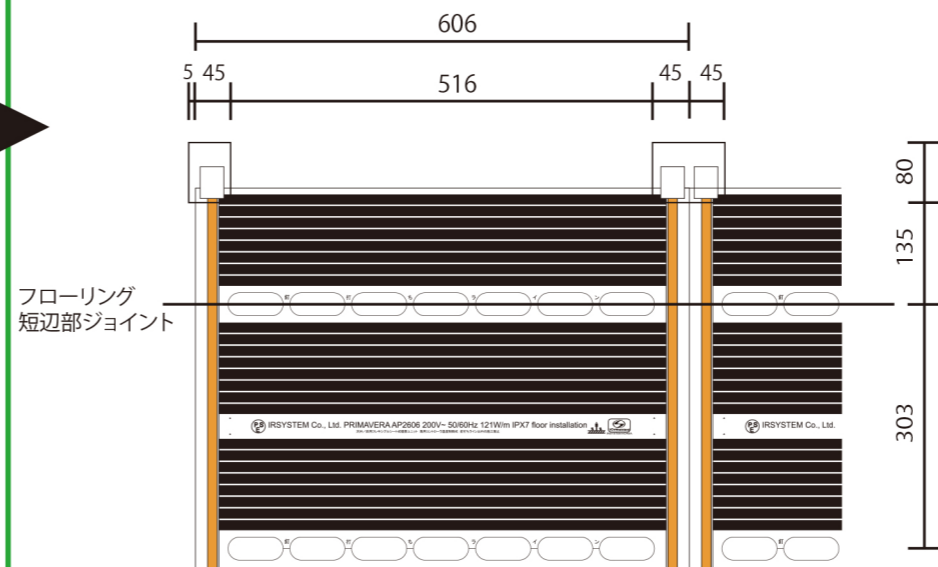
## 下地加工後は 清掃をお願いします

施工する部分にゴミが入ってしまった場合、  
床鳴り、破損による漏電の恐れがあります。

## ◆ 丸穴位置

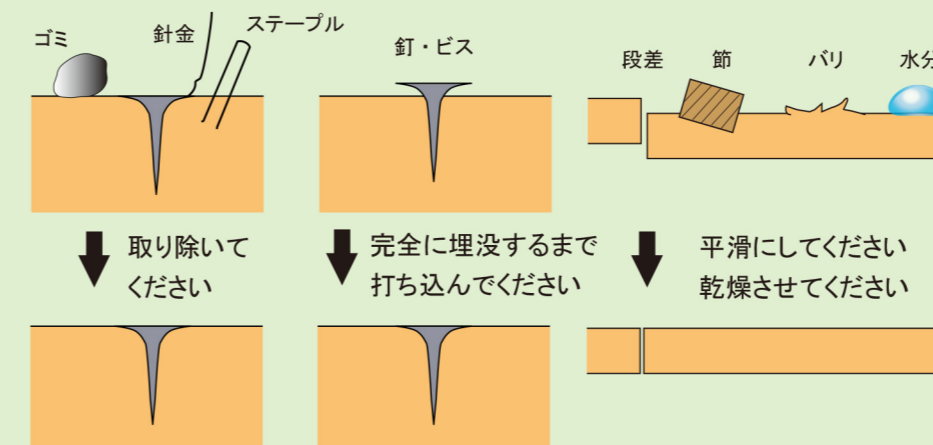


## ◆ 座彫り位置



## ⚠️ プリマヴェーラ・ネオ敷設前の注意

プリマヴェーラ・ネオを敷設する前に、ゴミ・木くず・連結釘の針金・  
ステーブル等の無いよう、丁寧に掃除してください。  
釘・ビス等の頭は埋没するまで打ち込んでください。  
合板のバリや節などの突起物、段差等の無いよう平滑にしてください。  
下地合板が濡れている場合は、よく乾燥させてください。



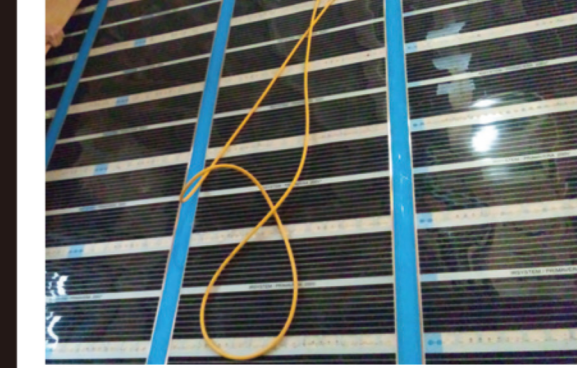
プリマヴェーラ・ネオのリード線を床下に落とします。

## 配線

※床上配線は方法が  
異なります。

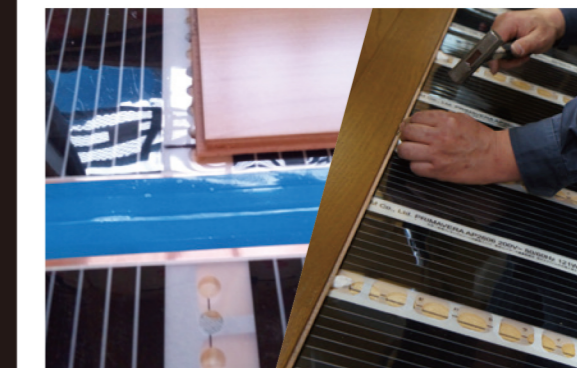
# ③ プリマヴェーラ・ネオの敷設と仕上げ材の施工

## 手順① プリマヴェーラ・ネオの敷設



仕上げ材の釘打ち部とプリマヴェーラ・ネオの釘打ちラインが  
合うように、重ねず隣同士は突き付けて敷設してください。  
なお、固定には養生テープを用い、釘打ちライン上の銅箔部を  
隠すように貼り付けてください。

## 手順② 仕上げ材の施工



仕上げ材の施工要領に沿って施工してください。  
プリマヴェーラ・ネオ敷設部分への接着剤塗布は釘打ちラインの穴に  
沿って行いますが、接着剤は銅箔部分に付着しないようにしてください。  
接着剤は、コニシ社製 KU928C-X 同等品をご使用ください。

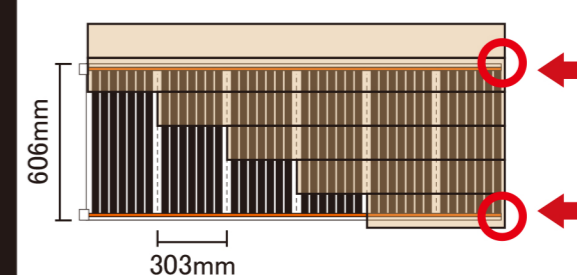
## 施工完了



仕上げ材の施工が完了すると、電気配線作業に移ります。  
電気配線は必ず電気工事士の有資格者が行うようにしてください。

## ◆ 仕上げ材が幅の狭いフローリングの場合

幅1尺のフローリングと同様に、  
銅箔部分を必ずまたぐように施工してください。



## シート同士を少し離す時



※温度ムラを避けるため、  
シート間の隙間はできる限り  
少なくしてください。（最大で10mm）

## シートの透明部分を重ねる時



※シートの銅箔部分及び発熱部を  
重ねての施工はできません。

どのようにしても銅箔部分とフローリングの継ぎ手が重なったり接近する場合  
①プリマヴェーラ・ネオの透明部分を重ねる  
②プリマヴェーラ・ネオ同士を離す（最大で10mm以内）

※割り付けを合わせるために、余っている棒を物差し代わりにする方法や、  
予めプリマヴェーラ・ネオを固定するのではなく、フローリングを施工しながら、  
1枚1枚ずらして固定する方法があります。

※輸入材、無垢材での施工をご希望される際には、当社営業担当者にご相談ください。